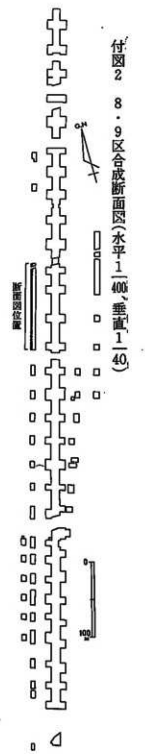
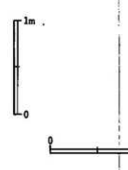


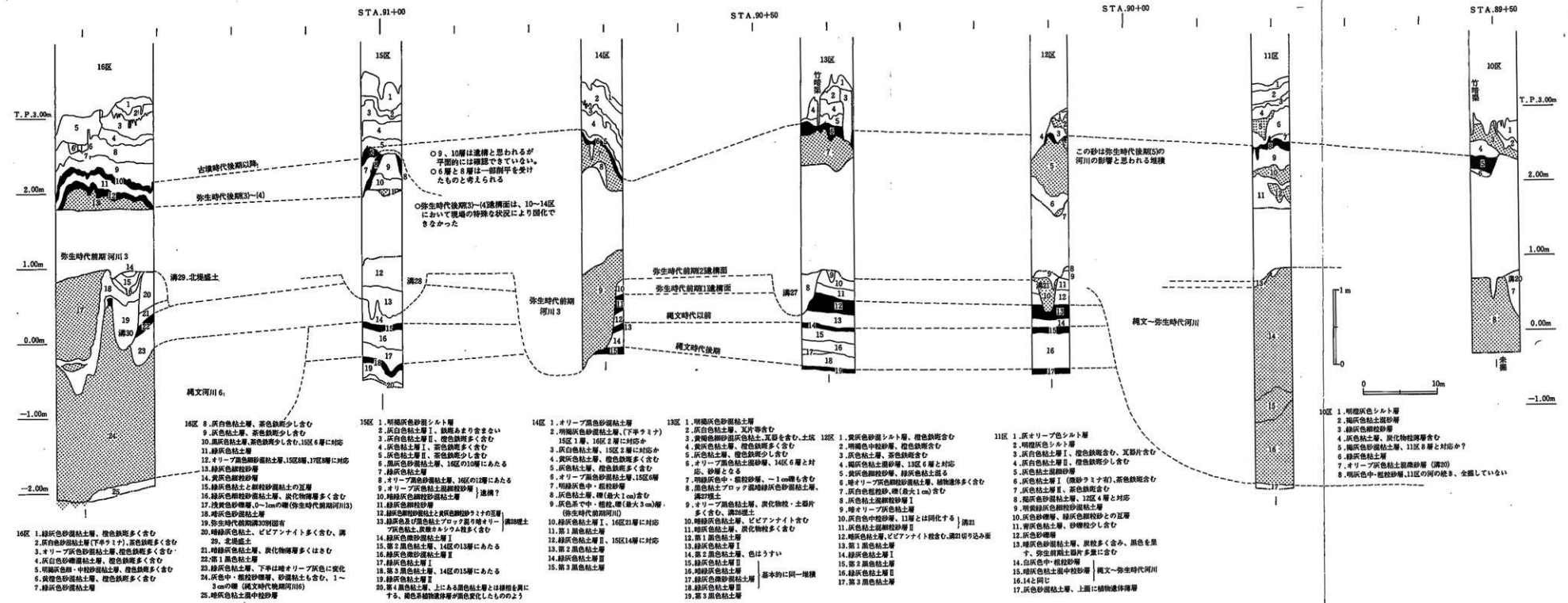
- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <p>1. 暗灰色シルト層、砂礫少量混る</p> <p>2. 暗緑灰色シルト層、砂礫少量混る</p> <p>3. 黒色粘土層、砂礫少量混る、鉄質多く含む</p> <p>4. オリーブ灰色粘土層、砂礫少量混る、鉄質多く含む</p> <p>5. 暗灰色砂礫粘土層、S.T.A. 89+10以北は黒褐色となる、10区5層と連続</p> <p>6. 緑灰色砂礫粘土層</p> <p>7. 緑灰色砂礫粘土層、鉄質多く含む</p> <p>8. 灰黄色砂礫粘土層、鉄質多く含む</p> <p>9. 竹崎脈、灰黄色砂礫粘土層、鉄質少し含む</p> <p>10. オリーブ灰色粘土層、鉄質少し含む</p> <p>11. 灰黄色砂礫粘土層、鉄質多く含む</p> <p>12. 灰黄色粘土層、鉄質少し含む</p> <p>13. 灰黄色中粒砂層、S.T.A. 89+100以北は灰白色に染化</p> <p>14. 灰黄色中粒砂層、オリーブ灰色粘土層を含む</p> <p>15. 暗緑灰色砂礫層、S.T.A. 89+500以南は暗オリーブ灰色砂礫粘土層</p> <p>16. 灰白色中、粗粒砂層、断片的には15と連続的連続</p> <p>17. 暗灰色シルト粘土層、植物遺体層を含む</p> <p>18. 暗オリーブ灰色粘土層、灰白色中粒砂層を含む</p> | <p>19. 黒灰色粘土層、準生時代後期2以降基盤層</p> <p>20. 緑灰色粘土層、上中に灰黄色カラムを含む</p> <p>21. オリーブ灰色粘土層、灰黄色カラム様多く含む</p> <p>22. 暗灰色粗粒砂層</p> <p>23. オリーブ灰色微砂層</p> <p>24. 黒灰色粘土層、オリーブ鉄含有</p> <p>25. 暗オリーブ灰色粘土層、灰白色中粒砂層を含む</p> <p>26. オリーブ灰色微砂層、灰白色粘土に染化</p> <p>27. 暗灰色砂礫粘土層、1cm程度の層を含む</p> <p>28. オリーブ灰色微砂層</p> <p>29. 暗灰色粗粒砂礫粘土層、0.5-1.0cm層を含む</p> <p>30. オリーブ灰色微砂層</p> <p>31. 灰白色中、粗粒砂層、1cm前後の層を含む、粘土層も含む</p> <p>32. 暗灰色シルト層</p> <p>33. 黒灰色土層(第1黒色粘土層の可能性もある)</p> <p>34. 黒緑灰色粘土層</p> <p>35. 灰黄色砂礫層</p> <p>36. 暗灰色粘土層</p> <p>37. 暗灰色粗粒砂礫粘土層、34と本格的には同一層類、</p> | <p>38. 暗灰色微砂層</p> <p>39. 暗オリーブ灰色粘土層、灰白色中粒砂層を含む</p> <p>40. 暗緑灰色粘土層、植物遺体層を含む</p> <p>41. 暗オリーブ灰色粘土層V、39とほとんど同じ様子の層</p> <p>42. 暗灰色粗粒砂層</p> <p>43. 灰白色粗粒砂層</p> <p>44. 暗緑灰色粘土層、植物遺体及び灰白色中粒砂層を含む</p> <p>45. 暗灰色微砂層、礫も含む</p> <p>46. オリーブ灰色微砂層</p> <p>47. 暗緑灰色粘土層中粒砂層</p> <p>48. 暗緑灰色粘土層中粒砂層</p> <p>49. 灰白色中粒砂層</p> <p>50. 灰白色中、粗粒砂層、植物遺体、灰白色中粒砂層、植物遺体集中あり</p> <p>51. 暗灰色粘土層中粒砂層、植物遺体多量に充填</p> <p>52. 第10の層中に覆り覆りした黒褐色粘土層等の層土</p> <p>53. 灰白色中、粗粒砂層、内部に砂礫粘土層多く含む</p> <p>54. 暗オリーブ灰色砂礫粘土層、植物遺体多く含む</p> <p>55. 暗緑土、礫あり</p> | <p>56. 灰白色中、粗粒砂層、暗灰色粘土層を含む、溝1埋土</p> <p>57. オリーブ灰色粗粒砂礫粘土層、黒色粘土及び暗灰色粗粒砂粘土ブロックを含む</p> <p>58. 黒色粘土及び暗灰色粘土ブロック混合層</p> <p>59. 第1黒色粘土層</p> <p>60. 暗緑灰色粘土層</p> <p>61. 黒灰色粘土層、S.T.A. 89+10以北は消失(第2黒色粘土層)</p> <p>62. 緑灰色粘土層、全体にシルト、細砂層、所によりラミナ、細粒砂層</p> <p>63. 灰黄色粘土層、植物遺体層を含む</p> <p>64. 第3黒色粘土層、第1よりも粒径細かい</p> <p>65. オリーブ灰色粗粒砂粘土層</p> <p>66. オリーブ灰色粘土層シルト層</p> <p>67. 暗緑灰色粘土層、植物遺体を含む</p> <p>68. 暗灰色砂礫粘土層、植物遺体を含む</p> <p>69. 暗灰色粘土層</p> <p>70. 暗緑灰色粗粒砂礫粘土層、植物遺体を含む</p> |
|---|--|--|---|

註 準生時代前期の溝の埋り込まれた層は境界によって確認できていないが、本格的には準生時代前期に相当するものである。他の層の時代決定は、遺物がないことに基づいて、前面調査の層序との対応が明確にならないうえ、ほとんど不可能である。



付図 2 8・9区各段断面図(水平1:400、垂直1:40)

付図3 10~16区合成断面図(水平1/400、垂直1/40)



- 16区
1. 緑灰色砂礫粘土層、褐色鉄斑多く含む
  2. 灰白色粘土層(下平ラミナ)、褐色鉄斑多く含む
  3. オリーブ灰色砂礫粘土層、褐色鉄斑多く含む
  4. 灰白色砂礫粘土層、褐色鉄斑多く含む
  5. 明褐色・中粒砂礫粘土層、褐色鉄斑多く含む
  6. 黄褐色砂礫粘土層、褐色鉄斑多く含む
  7. 緑灰色砂礫粘土層
  8. 灰白色粘土層、茶色鉄斑少し含む
  9. 灰白色粘土層、茶色鉄斑少し含む
  10. 黒灰色粘土層、茶色鉄斑少し含む、15区6層に対応
  11. 緑灰色粘土層
  12. オリーブ灰色砂礫粘土層、15区8層、17区9層に対応
  13. 黄灰色粘土層
  14. 黄灰色粘土層
  15. 緑灰色粘土と細粒砂礫粘土の互層
  16. 緑灰色粘土と粗粒砂礫粘土層、炭化物層多く含む
  17. 黄灰色粘土層、小-1cmの礫(縄文時代前期河川10)
  18. 黄灰色粘土層
  19. 縄文時代前期河川300m固有
  20. 暗緑灰色粘土、ビアンナイト多く含む、溝20、炭礫土
  21. 暗緑灰色粘土層、炭化物層多く含む
  22. 第1黒色粘土層
  23. 緑灰色粘土層、下平は暗オリーブ灰色に炭化
  24. 灰色中・粗粒砂礫層、砂礫粘土も含む、1~3cmの礫(縄文時代前期河川6)
  25. 緑灰色粘土層中粒砂層

- 15区
1. 明褐色砂礫シルト層
  2. 灰白色粘土層、炭斑あまり含まない
  3. 灰白色粘土層、褐色鉄斑多く含む
  4. 灰白色粘土層、茶色鉄斑多く含む
  5. 灰白色粘土層、茶色鉄斑少し含む
  6. 黄灰色粘土層、褐色鉄斑多く含む
  7. 緑灰色粘土層
  8. オリーブ黒色砂礫粘土層、16区12層にある
  9. オリーブ灰色粘土と粗粒砂礫粘土層 } 連続?
  10. 暗緑灰色粘土層
  11. 緑灰色粘土層
  12. 暗緑灰色粘土と黄灰色粘土の互層、溝28土
  13. 緑灰色粘土とフロック層(暗オリーブ) } 溝28土
  14. 灰白色粘土層、黄オリーブ多量を含む
  15. 第2黒色粘土層、14区13層にある
  16. 緑灰色粘土層
  17. 緑灰色粘土層
  18. 第1黒色粘土層、14区15層にある
  19. 第2黒色粘土層
  20. 第4黒色粘土層、上にある黒色粘土とは緑斑を異にし、褐色鉄斑層が黒色化したもの

- 14区
1. オリーブ黒色砂礫粘土層
  2. 明褐色砂礫粘土層(下平ラミナ)
  3. 灰白色粘土層、15区2層に対応
  4. 灰白色粘土層、褐色鉄斑多く含む
  5. 灰白色粘土層、褐色鉄斑多く含む
  6. オリーブ黒色砂礫粘土層、15区6層
  7. 明褐色中・粗粒砂層、-1cm礫も含む
  8. 灰白色粘土層、礫(最大1cm)含む
  9. 灰白色中・粗粒層(最大3cm)層、(縄文時代前期河川)
  10. 緑灰色粘土層、16区21層に対応
  11. 第1黒色粘土層
  12. 緑灰色粘土層II、15区14層に対応
  13. 第2黒色粘土層
  14. 緑灰色粘土層
  15. 第3黒色粘土層

- 13区
1. 明褐色砂礫粘土層
  2. 灰白色粘土層、瓦片等含む
  3. 黄褐色細粒砂礫粘土層、瓦片等含む、土坑
  4. 灰白色粘土層、褐色鉄斑多く含む
  5. 灰白色粘土層、茶色鉄斑少し含む
  6. オリーブ黒色砂礫粘土層、14区6層と対応、砂礫土なる
  7. 明褐色中・粗粒砂層、-1cm礫も含む
  8. 灰白色粘土層、フロック層(最大1cm)含む、溝27
  9. オリーブ黒色粘土層、炭化物・土面片多く含む、溝28固有
  10. 暗緑灰色粘土層、ビアンナイト含む
  11. 暗緑灰色粘土層、炭化物物多く含む
  12. 第1黒色粘土層
  13. 緑灰色粘土層I
  14. 第2黒色粘土層、色はうすい
  15. 緑灰色粘土層II
  16. 暗緑灰色粘土層
  17. 緑灰色粘土層
  18. 緑灰色粘土層
  19. 第3黒色粘土層

- 12区
1. 黄褐色砂礫シルト層、褐色鉄斑含む
  2. 明褐色中粒砂層、褐色鉄斑含む
  3. 灰白色粘土層、茶色鉄斑含む
  4. 暗緑灰色粘土層、13区6層と対応
  5. 黄褐色細粒砂層、緑灰色粘土層
  6. 暗オリーブ灰色粘土層、炭化物層多く含む
  7. 灰白色粘土層、礫(最大1cm)含む
  8. 灰白色粘土層、褐色鉄斑含む
  9. 暗オリーブ灰色粘土層
  10. 灰白色中粒砂層、11層とは同化する } 溝21
  11. 灰白色粘土層、炭化物物多く含む
  12. 暗褐色粘土層、ビアンナイト含む、溝21切り込み
  13. 第1黒色粘土層
  14. 緑灰色粘土層I
  15. 第2黒色粘土層
  16. 暗緑灰色粘土層
  17. 第3黒色粘土層

- 11区
1. 暗オリーブ色シルト層
  2. 灰白色粘土層
  3. 灰白色粘土層I、褐色鉄斑含む、瓦礫片含む
  4. 灰白色粘土層II、褐色鉄斑少し含む
  5. 灰白色粘土層
  6. 灰白色粘土層I(黄砂ラミナ有)、茶色鉄斑含む
  7. 灰白色粘土層I、茶色鉄斑含む
  8. 暗緑灰色粘土層、12区4層と対応
  9. 明褐色細粒砂礫粘土層
  10. 灰白色粘土層、暗緑灰色粘土層との互層
  11. 黄灰色粘土層、砂礫粒少し含む
  12. 灰白色粘土層
  13. 暗緑灰色粘土層、炭斑多く含む、黒色を呈す、劣生期土層に多量を含む
  14. 灰白色中・粗粒砂層
  15. 暗緑灰色粘土層中粒砂層 } 縄文-縄文時代河川16,14と同じ
  16. 暗緑灰色粘土層
  17. 灰白色粘土層、上に植物体残層

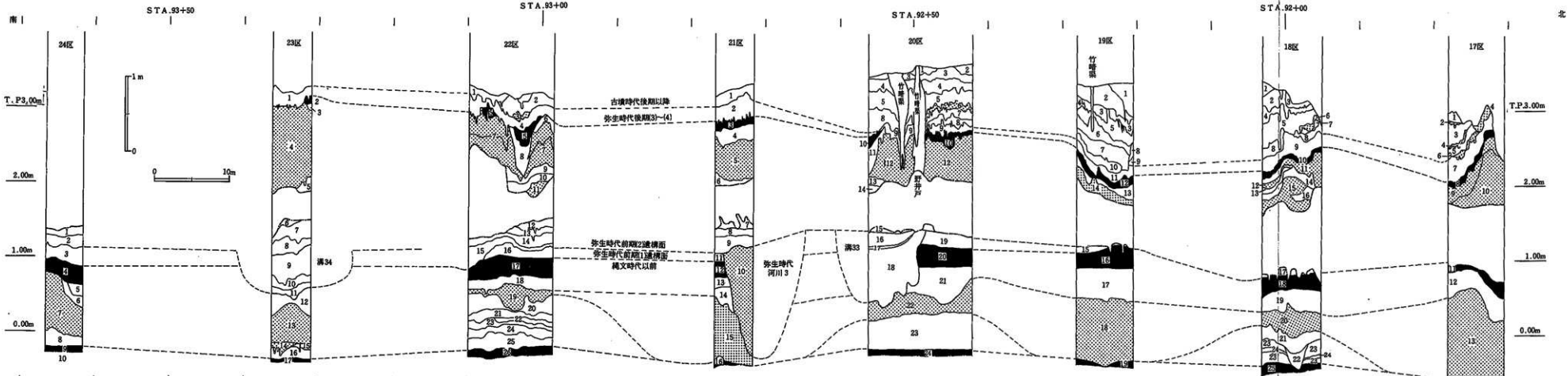
- 10区
1. 明褐色シルト層
  2. 暗緑灰色粘土層
  3. 暗緑灰色粘土層
  4. 灰白色粘土層、炭化物粘土層を含む
  5. 暗緑灰色粘土層、11区8層と対応か?
  6. 暗緑灰色粘土層
  7. オリーブ粘土層、暗緑砂層(溝20)
  8. 明褐色中・粗粒砂層、11区の河の続き、全盤していない

○9、10層は連続と思われるが平面的には確認できていない。  
○6層と8層は一部削平を受けたものと考えられる

○9、10層は連続と思われるが平面的には確認できていない。  
○6層と8層は一部削平を受けたものと考えられる

この砂は縄文時代後期5の河川の影響と思われる規模

基本的同一規模

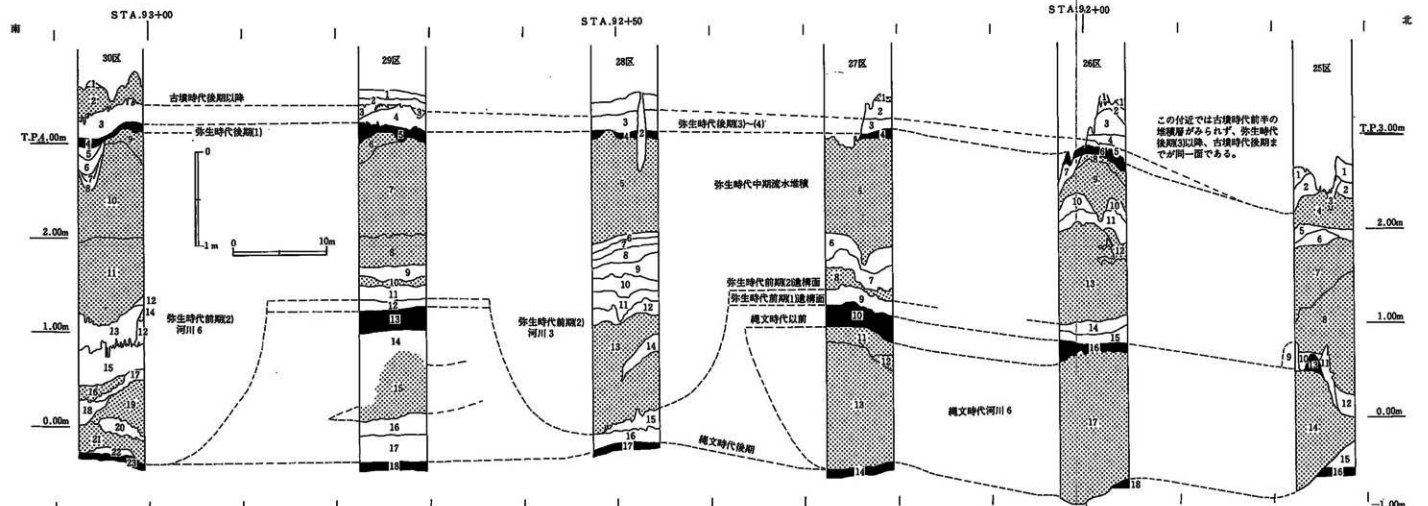


- 24区 1.堆オリーブ灰色粘土層 2.黒沢色粘土層Ⅰ、炭化物物多く含む 3.黒沢色粘土層Ⅱ 4.第1黒色粘土層 5.緑沢色粘土層Ⅰ 6.緑沢色細粒砂質粘土層 7.明赤色色帯層と黒色粘土互層、灰白色砂層を含む 8.第2黒色粘土層 9.第3黒色粘土層 10.オリーブ灰色粘土層
- 23区 1.灰黄色粘土層、細粒サリナを含む、褐色鉄斑多く含む 2.黒色細粒砂質粘土層、茶色鉄斑含む 3.灰黄色粘土層Ⅰ 4.灰白色中・粗粒砂層、厚2-3cm、上半は緑沢色細粒砂層 5.堆オリーブ灰色粘土層、植物遺体を含む 6.茶褐色粘土層、微粒サリナを含む 7.堆オリーブ灰色粘土層、炭化物物及びびんねの層を含む 8.緑沢色粘土層Ⅰ、炭酸カルシウム多く含む 9.緑沢色粘土層Ⅱ及び黒色粘土ブロックを含む、炭酸カルシウム多く含む 10.堆オリーブ灰色粘土層に9層が覆る 11.明赤色粘土層、黒色粘土小ブロック覆る 12.明赤色粘土層Ⅱ 13.灰白色中・粗粒砂層 14.緑沢色細粒砂層 15.黒沢色粘土層、炭化物物多く含む 16.黒沢色粘土層Ⅰ、ビゼンナイト多く含む 17.第1黒色粘土層 18.黒沢色粘土層Ⅱ 19.緑沢色細粒砂質粘土層、中・粗粒砂層部あり 20.緑沢色粘土層Ⅲ 21.20層に灰黄色粘土塊状層
- 22区 1.灰黄色細粒砂と灰黄色細粒砂質粘土の互層 2.灰黄色粘土層、炭化物物を含む 23.灰黄色粘土層、炭化物物を含む 24.灰黄色粘土層、茶褐色粘土層を含む 25.黒色中・粗粒砂質粘土層、21区、2層と対応 26.緑沢色細粒砂質粘土層 27.灰白色中・粗粒砂層 28.堆オリーブ灰色粘土層、22区9層と対応 29.灰白色中・粗粒砂層、上半は緑沢色細粒砂層と互層 30.砂心粘土の互層 (炭酸カルシウム) 31.緑沢色粘土層Ⅰ、22区1層と対応 32.堆オリーブ灰色粘土層Ⅰ 33.緑沢色粘土層Ⅱ 34.緑沢色細粒砂質粘土層 35.緑沢色粘土層Ⅲ、中・粗粒砂層部あり 36.第3黒色粘土層
- 21区 1.黄褐色シルト層 2.堆オリーブ灰色粘土層 3.灰オリーブ色細粒砂質粘土層 4.灰黄色粘土層、鉄斑多く含む 5.堆オリーブ灰色砂質粘土層、鉄斑大塊を含む 6.灰白色中・粗粒砂層 7.オリーブ灰色砂質粘土層、鉄斑多く含む 8.灰白色粘土層、褐色鉄斑多く含む 9.緑沢色細粒砂と7層の互層、植物遺体を含む 10.堆オリーブ灰色砂質粘土層、炭酸カルシウムを含む 11.粘土と砂層の互層 (炭酸カルシウム) 12.灰白色中・粗粒砂層、緑沢色砂質粘土との互層 13.オリーブ灰色粘土層、植物遺体を含む 14.堆オリーブ灰色粘土層 15.明赤色粘土層 16.明赤色粘土層と黒色粘土小ブロックを含む 17.茶褐色粘土層 (植物遺体を含む) 18.よりアプロック長大い、緑沢色細粒砂を含む 19.第1黒色粘土層 20.第1黒色粘土層
- 20区 1.緑沢色粘土層Ⅱ、下砂質となる 22.明赤色土層、中粒砂層、下平褐色粘土となる 3.灰黄色粘土層、鉄斑多く含む 4.黄沢色粘土層、植物遺体を含む 5.明赤色細粒砂質粘土層、鉄斑多く含む 6.明赤色粘土層、鉄斑多く含む 7.灰黄色粘土層、鉄斑多く含む 8.灰黄色粘土層 9.堆オリーブ灰色砂質粘土層、鉄斑多く含む 10.灰白色中粒砂層 11.灰黄色粘土層、鉄斑中多量を含む 12.黒沢色粘土層、砂粒及び鉄斑少し含む 13.緑沢色粘土層Ⅰ、21区1層と対応 14.堆オリーブ灰色粘土層 15.明赤色粘土層 16.明赤色粘土層と黒色粘土小ブロックを含む 17.茶褐色粘土層 (植物遺体を含む) 18.よりアプロック長大い、緑沢色細粒砂を含む 19.第1黒色粘土層 20.第1黒色粘土層
- 19区 1.堆オリーブ灰色砂質粘土層、下平は灰白色中粒砂層に炭化 2.堆オリーブ灰色砂質粘土層 3.緑沢色砂質粘土層 4.黄沢色砂質粘土層 5.明赤色細粒砂質粘土層、鉄斑多く含む 6.明赤色粘土層、鉄斑多く含む 7.灰黄色粘土層、鉄斑多く含む 8.灰黄色粘土層 9.堆オリーブ灰色砂質粘土層、鉄斑多く含む 10.灰白色中粒砂層 11.灰黄色粘土層、鉄斑中多量を含む 12.黒沢色粘土層、砂粒及び鉄斑少し含む 13.緑沢色粘土層Ⅰ、21区1層と対応 14.堆オリーブ灰色粘土層 15.明赤色粘土層 16.明赤色粘土層と黒色粘土小ブロックを含む 17.茶褐色粘土層 (植物遺体を含む) 18.よりアプロック長大い、緑沢色細粒砂を含む 19.第1黒色粘土層 20.第1黒色粘土層
- 18区 1.緑沢色粘土層Ⅱ、下平は砂質変化、19区17層と対応 2.緑沢色細粒砂層、サリナ密しい 3.緑沢色粘土層 22.緑沢色粘土層、炭化物物多く含む 23.第3黒色粘土層 (平層で検出できなかった箇所込み)
- 17区 1.黄褐色シルト層、鉄斑多く含む 2.灰白色中・粗粒砂層Ⅰ 3.灰黄色粘土層、鉄斑多く含む、炭砂質の部分あり 4.灰白色及びオリーブ中・粗粒砂層 5.オリーブ灰色粘土層と明赤色砂層、鉄斑多く含む 6.灰白色中・粗粒砂層Ⅱ、粘土の部分あり 7.灰黄色粘土層、砂粒少し含む 8.黒沢色粘土層、植物遺体多量を含む 9.明赤色粘土層Ⅱ、21区1層と対応 10.明赤色粘土層、下平は砂質変化 11.堆オリーブ灰色砂質粘土層 12.堆オリーブ灰色砂質粘土層、中ほどに堆植物遺体層あり (縄文時代中期4)

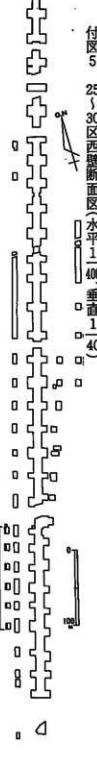
付図 17-24区合成断面図(水平1:400、垂直1:40)

北

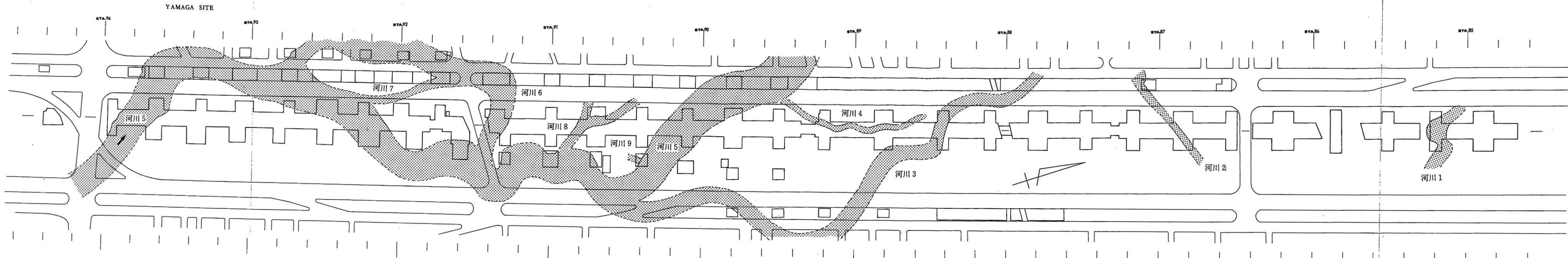
0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000



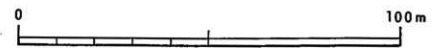
- 30K 1. 緑灰色粘土層、茶色鉄屑を含む  
2. 灰白色中・細粒砂層、鉄屑多く赤褐色を呈す  
3. 増粘灰色粘土層、鉄屑多く含む  
4. 増粘灰色粘土層、29区5と対応すると思われる  
5. 黒灰色粘土層  
6. 黒灰色粘土層  
7. 灰色粘土層  
8. 灰白色粘土層  
9. 灰白色粘土層、上層に鉄屑を含む  
10. 灰白色粘土層  
11. 10に粘土層埋砂層を含むようにする  
12. 増粘グレイ「灰白色粘土層I」、植物遺体多量含む、14層下層も同じ層子の土(山)下層まで河川埋砂層  
13. 増粘グレイ「灰白色粘土層II」、植物遺体多量含む  
14. 灰白色中粒砂層、植物遺体多量含む  
15. ヌー「灰白色粘土層、植物遺体多量含む、炭酸カルシウム層多量含む  
16. 黒灰色粘土層、植物遺体多量含む  
17. 黒灰色粘土層、植物遺体多量含む  
18. 灰白色粘土層、砂粘り砂含む  
19. 灰白色中・細粒砂層  
20. 灰白色中粒砂層、鉄屑多く赤褐色を呈す  
21. 灰白色中粒砂層、一部粗砂りな土あり  
22. 灰白色粘土層  
23. 黒3黒色粘土層
- 29区 1. 灰白色粘土層、茶色鉄屑を含む  
2. 灰白色粘土層、下層は砂りな土となる。  
30区2と対応し、鉄屑多量含む  
3. 灰白色粘土層、茶色鉄屑多量含む  
4. 灰白色粘土層、上層に鉄屑を含む  
5. 黒灰色粘土層、30区4層に対応する  
6. 灰白色中粒砂層  
7. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む  
8. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粘土層多量含む  
9. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粘土層多量含む  
10. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粘土層多量含む  
11. 増粘グレイ「灰白色粘土層I」、植物遺体及び炭酸カルシウム層を含む  
12. 緑灰色粘土層  
13. 黒3黒色粘土層  
14. 緑灰色粘土層  
15. 14層が砂層に交代する、灰白色中・細粒砂層、縄文河川6  
16. 灰白色粘土層、植物遺体多量含む  
17. 緑灰色粘土層、植物遺体多量含む  
18. 黒3黒色粘土層
- 28区 1. 灰白色粘土層、一部砂りな土を含む、褐色鉄屑を含む  
2. 野村戸焼土(縄文)  
3. 緑灰色粘土層、鉄屑多量含む  
4. 黒灰色粘土層、褐色鉄屑を含む、29区5層に対応  
5. 灰白色粘土層、上層は粗砂りとなる  
6. 黒灰色粘土層、植物遺体多量含む  
7. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、炭酸カルシウム層多量含む  
8. 緑灰色粘土層  
9. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、少し粗砂りを含む  
10. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粗砂りな土と粘土互層埋砂層  
11. 増粘グレイ「灰白色粘土層I」、植物遺体及び炭酸カルシウム層を含む  
12. ヌー「灰白色粘土層」、植物遺体多量含む  
13. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む  
14. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む、植物遺体多量含む  
15. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む、植物遺体多量含む  
16. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む、植物遺体多量含む  
17. 黒3黒色粘土層  
18. 黒3黒色粘土層
- 27区 1. 灰白色粘土層、粗砂り多量含む  
2. 灰白色粘土層、粗砂り少し含む鉄屑を含む  
3. 緑灰色粘土層、褐色鉄屑を含む  
4. 黒灰色粘土層、褐色鉄屑を含む、29区5層に対応  
5. 灰白色粘土層、粗砂り多量含む、上層は粗砂りとなる  
6. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、植物遺体多量含む  
7. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粗砂り多量含む  
8. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、粗砂り多量含む互層埋砂層  
9. 緑灰色粘土層、少し植物遺体を含む  
10. 黒3黒色粘土層  
11. 増粘グレイ「灰白色粘土層I」、植物遺体多量含む  
12. 緑灰色粘土層、下層は砂りとなる  
13. 灰白色中・粗粒砂層、鉄屑多量含む  
14. 灰白色中・粗粒砂層、鉄屑多量含む  
15. 黒3黒色粘土層  
16. 黒3黒色粘土層  
17. 黒3黒色粘土層  
18. 黒3黒色粘土層
- 26区 1. 灰白色粘土層 I  
2. 灰白色粘土層、植物遺体多量含む  
3. 灰白色粘土層、褐色鉄屑を含む、砂りな土を含む、27区1層に対応  
4. 灰白色粘土層、褐色鉄屑多量含む  
5. 黒灰色粘土層、粗砂り多量含む、上層は粗砂りとなる  
6. 黒灰色粘土層、27区4層に対応  
7. 灰白色粘土層  
8. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む  
9. 灰白色粘土層、粗砂り多量含む  
10. 増粘グレイ「灰白色粘土層I」、植物遺体多量含む  
11. ヌー「灰白色粘土層II」、植物遺体多量含む、13層の中・部分に存在  
12. 灰白色中・粗粒砂層、鉄屑多量含む  
13. 緑灰色粘土層、植物遺体多量含む、粗砂り少し含む  
14. 灰白色粘土層、植物遺体多量含む、鉄屑多量含む  
15. 14層と同じ、植物遺体多量含む、鉄屑多量含む  
16. 黒3黒色粘土層、埋砂層の黒3黒色粘土層と比較して鉄屑多量含む  
17. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む、粗砂り多量含む  
18. 黒3黒色粘土層
- 25区 1. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、茶色鉄屑を含む  
2. 灰白色粘土層、粗砂り少し含む  
3. 灰白色粘土層、褐色鉄屑を含む、粗砂り埋砂りのみで粗砂りとなる  
4. 灰白色中・粗粒砂層、鉄屑多量含む  
5. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、植物遺体多量含む  
6. 灰白色粘土層、炭酸カルシウム層多量含む、炭酸カルシウム層多量含む  
7. 緑灰色粘土層、粘土多量含む  
8. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む  
9. 灰白色粘土層、鉄屑多量含む、植物遺体多量含む、炭酸カルシウム層多量含む  
10. ヌー「灰白色粘土層I」、植物遺体多量含む、13層の中・部分に存在  
11. 灰白色中・粗粒砂層、鉄屑多量含む  
12. 増粘グレイ「灰白色粘土層」、植物遺体多量含む  
13. 黒3黒色粘土層  
14. 黒3黒色粘土層  
15. 黒3黒色粘土層  
16. 黒3黒色粘土層

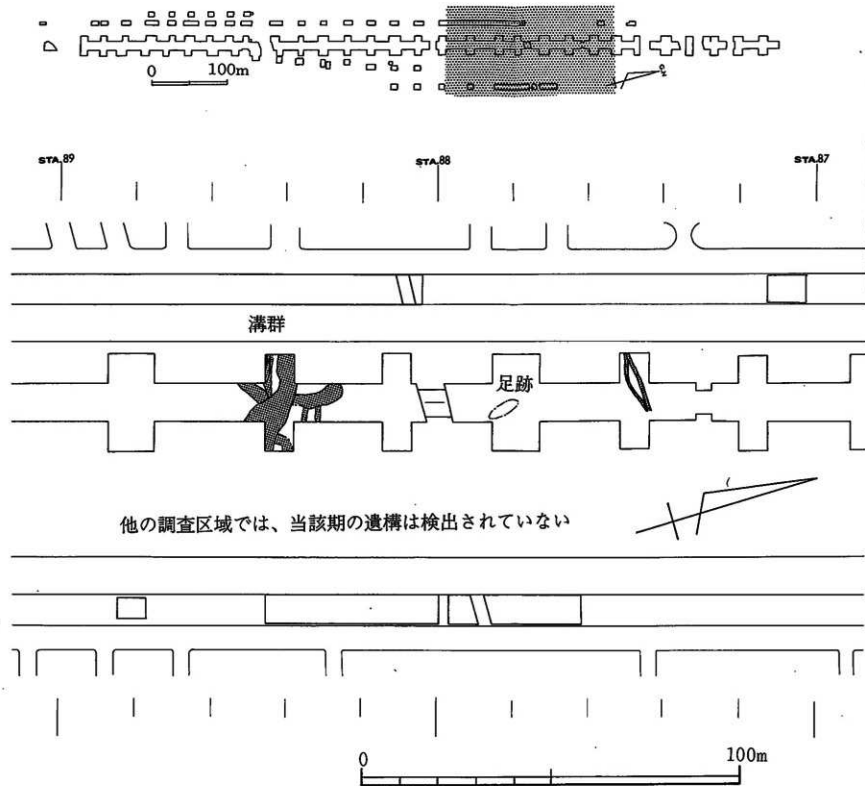


付図5 25〜30区西横断面図(水平1:400、垂直1:40)



流路の復原(破線)はあくまで推定である。  
 河川3 = (その2)調査、河川1、2      河川5 = (その3)調査、河川1、3、4、6、7  
 河川4 = (その2)調査、河川3、4      (その4)調査、河川1、2、4  
 河川6 = (その3)調査、河川5



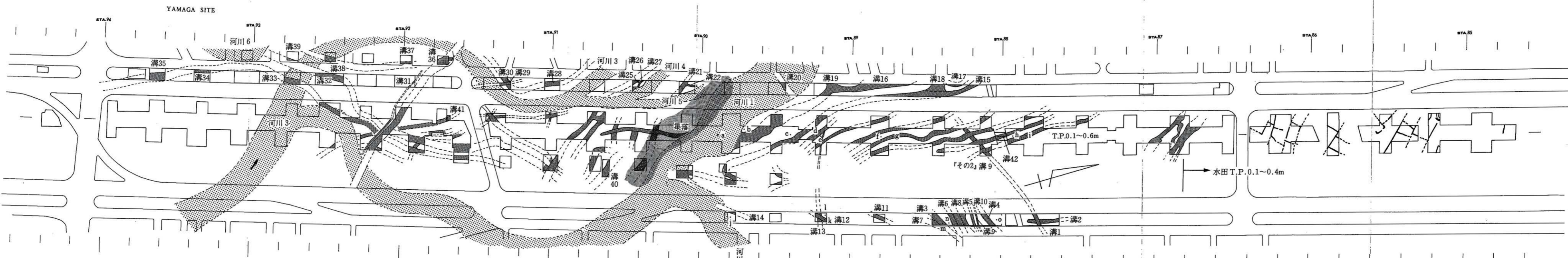


溝群

足跡

他の調査区域では、当該期の遺構は検出されていない

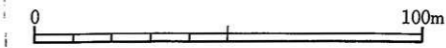
0 100m



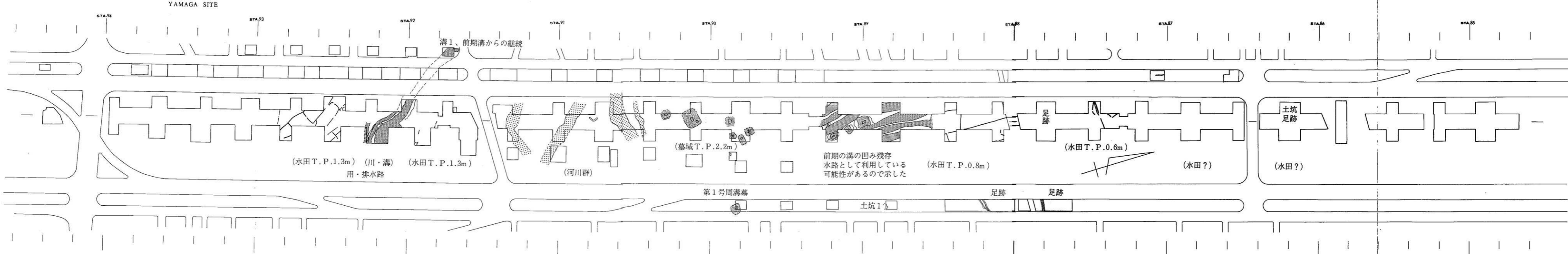
溝は今回検出したものに番号を付している、破線はあくまで推定である。  
 従って、同一の溝に復原してあるものもトレンチごとに番号は異っている。  
 前回調査区の河川・溝に関しては、検討の上、復原及び取捨選択して掲載した。

■ 河川堆積による微高地を利用した集落

- a~o地点レベル (T.P.メートル)
- |                   |               |               |
|-------------------|---------------|---------------|
| a. 1.1 (河川埋没後の頂点) | f. 1.4 (堤の頂点) | k. 0.1 (溝の底)  |
| b. 0.8            | g. 0 (溝の底)    | l. 0.7 (堤の頂点) |
| c. 0.65           | h. 0.6 (堤の頂点) | m. -0.2 (溝の底) |
| d. 0.2 (溝の底)      | i. -0.2 (溝の底) | n. 1.4 (堤の頂点) |
| e. 1.5 (堤の頂点)     | j. 1~1.8      | o. 0.5        |
- (河川の氾濫堆積後の)  
 最下点~最上点

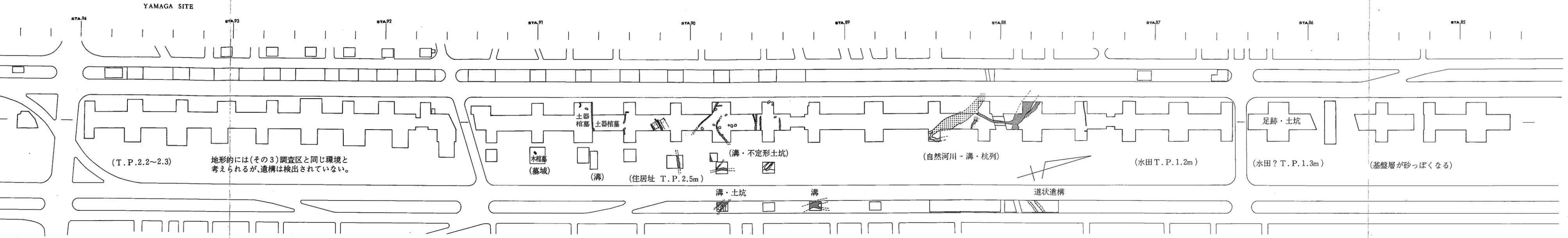






(その3)調査では、この時期を(古)新の2段階にわけて報告しているが、共に墓域として継続性が認められ、遺構も重複しないので、ここでは一括して扱った





(その4)調査区で遺構が検出されない理由としては、もともと存在しないと考えより、弥生時代後期の流水堆積によって流されたと考えたい。(その4)調査の断面図をみれば後期Ⅰの水田面上に堆積する砂が中期の基盤となる砂層と重複してしまっている。なお、(その4)調査区で言う中期Ⅱ面(足跡群)は、層位的にみて(その3)及び今回調査区の遺構面とは連続しえない

STA. 88+00付近から南では、中期の厚い砂の堆積がみられる。[(その2)調査区で14層と呼ばれる]] この砂層の上面を中期Ⅲ遺構面として把握する。中期Ⅱは、砂層の下を遺構面とするが、砂層がみられない。STA. 88+00付近から北の遺構面については、中期Ⅱ・Ⅲのいずれに対応するのか明確ではない



YAMAGA SITE

STA.94

STA.93

STA.92

STA.91

STA.90

STA.89

STA.88

溝3

水田の北限ライン(以北は砂が基盤となる)

(水田 T. P. 2.4~2.6m)

(河川堆積によって形成された  
微高地上に粘土が薄く堆積し、  
その上に溝が見られる  
T. P. 1.8~2.2m)

(湿地 T. P. 1.3m)

溝2

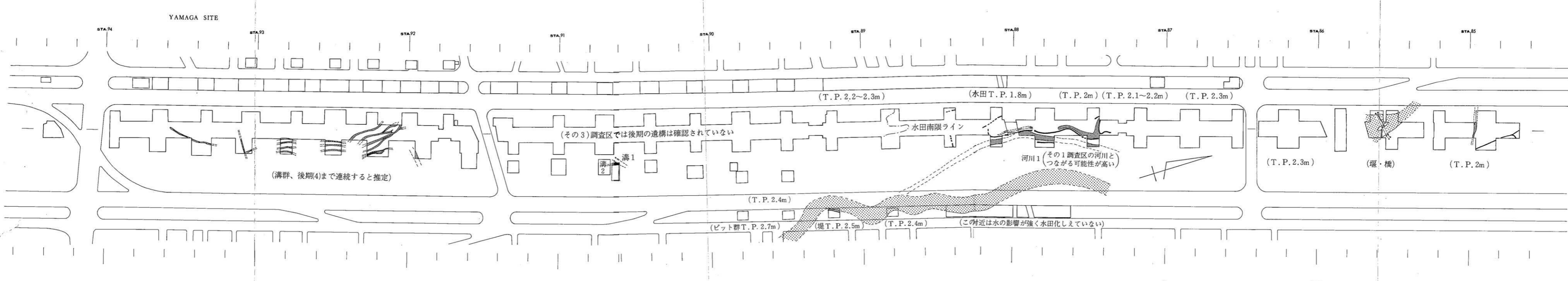
(T. P. 2.5m)

(T. P. 2.1m)

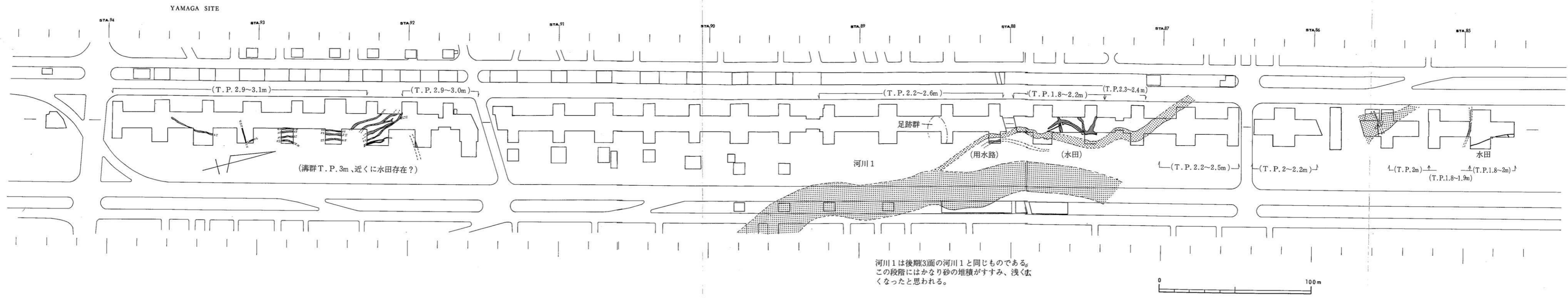
(T. P. 2.1m)

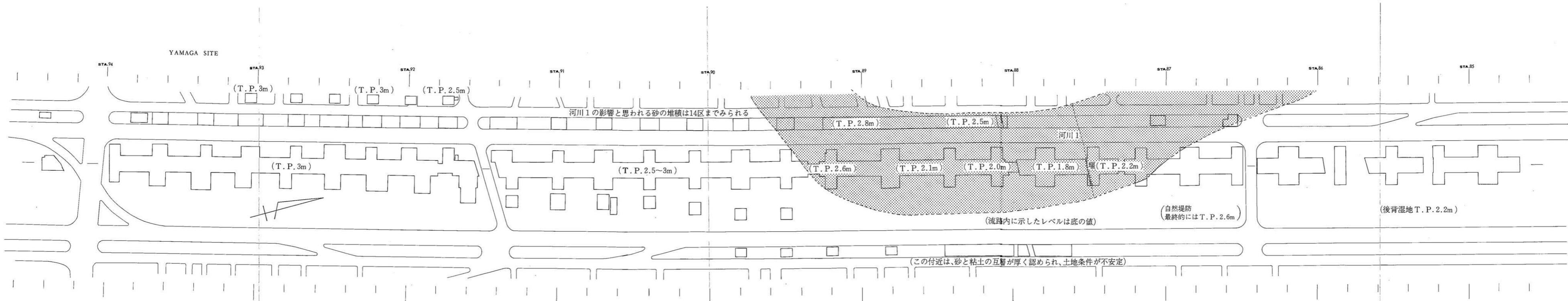
(T. P. 1.9m)

(T. P. 1.3m) (T. P. 1.3m)



弥生時代後期(3)遺構概略





河川1は、前回調査で認識されていなかったが、断面図の検討により想定されるに至った。なお、(その2)調査で言う「後背Ⅲ面」で検出された杭列はこの河川に設けられた堰と考えられる

